

研修NO.  
17-32

# モデルで学ぶ原価管理とコストダウン

## コストマネジメント実践編

対象者

管理者・新任管理者・グループリーダー等

### 研修のねらい

国内のみならず、安価な輸入製品等との競争が激化する中、コスト競争に打ち勝つため、製造現場にはさらなるコストダウンが求められます。

本研修では、製造現場をモデル化した教材を使い、原価計算とコストダウンのポイントを学び、自社のコストダウン活動の改善のための実践力を高めます。

### このような方におすすめ

- ★コストダウンをどのように進めるか、実践的に学びたい方
- ★全社的なコストダウンの実現を模索している方

実施期間

全3日間(21時間)

2018年2月19日(月)～21日(水)

定員

30名

受講料

31,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

### 受講生の声

- ◆私の専門分野ではない「コストマネジメント」でしたが、分かり易い内容で時間が短く感じられました。
- ◆パワーポイントを用いて飽きない講義でした。
- ◆教え方がすごく丁寧でわかりやすい講義でした。

## 研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
2/19(月) 9:40～17:40	1.原価のしくみについて 2.コストダウンと現場の原価管理の進め方	原価の成り立ちと利益が出るしくみを理解した上で、材料費・加工費の計算の仕方や日常的に取り組めるコストダウンのポイントについて学びます。 ●企業経営とお金の流れ ●材料費と加工費の計算方法 ●日常業務でのコストダウン  原価管理を現場のコストダウン成果に結びつけるためのポイントを理解した上で、コストダウン余地の把握の仕方を学びます。 ●「改善活動」と「管理活動」 ●原価管理とコストダウン活動 ●コストダウン余地の把握(「だれが」「なにを」「いくら下げるか」)
2/20(火) 9:00～18:00	3.モデルケースでのコストダウンシミュレーション(演習)	ケース演習を通じて、材料費・加工費のコストダウンにつながるアクションを理解します。また、演習結果から自社現場への応用を考えます。 ●一人生産方式による組立作業 ●治具の有効活用 ●部品一体化の改善 ●部品共通化の改善 ●理想原価へのトライアル ●演習成果発表
2/21(水) 9:00～16:00	4.コストダウンの目のつけどころ	製造現場での材料費・加工費のコストダウン事例を交えて、自社現場での実践のヒントを学びます。 ●4つのロス ●不良・製造歩留り事例 ●作業効率を上げる事例

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

## 講師紹介

### ▶大塚 泰雄 (おおつか やすお)

株式会社MEマネジメントサービス 常務取締役  
大手工作機械メーカー勤務を経て、平成3年に(株)MEマネジメントサービス入社。平成13年取締役就任。標準原価管理システム構築やコストダウン教育、VE改善等を通じた総合的コストダウンに係るコンサルティング業務や日刊工業新聞社等主催のセミナーなどで活躍。主な著書は「理想原価への挑戦」、「実践原価企画」、「よくわかる金型の原価管理とコストダウン」、「トコトンやさしい原価管理の本」ほか多数。

### ▶橋本 大和 (はしもと やまと)

(株)MEマネジメントサービス システム事業部長  
イベント企画制作・映像ソフトウェア企画開発・ITコンサルティング企業を経て2009年広告コンサルティング会社を設立。  
中小企業の販売促進・ブランディング・コンサルティング・セミナー教育などの活動を経て、現在(株)MEマネジメントサービス システム事業部長に就任。主に社内教育ツールの開発やセミナー事業の発展に寄与。主なセミナーとして「リピーターが途切れないHPのデザイン設計と運用」「ブログで伝わるブランディング講座」「3人の専門家による失敗しない企業術」「WEB・DTP活用/販促しゃべり場」などがある。